

## 1.しっかり基礎 設置状況に、適した基礎を施工設置が大切です。

基礎から一体となった堀は、堀の転倒に抵抗する、重要な役割を果たします。

## 2.しっかり配筋 設置状況に、適した配筋を行う事が大切です。

縦筋・横筋を配置することで、堀に作用する力に抵抗する、重要な役割を果たします。

## 3.しっかり充填・接着 フロックとフロックをモルタルで結合させることが大切です。

充填モルタルは、フロックと鉄筋を一体化させ強固な壁体を造ると共に、鉄筋を保護する重要な役目を果たします。

目地モルタルは、フロックどうしを接着するもので、屋外にて風雨にさらされる環境に設置されるフロック堀の耐久性を担保する重要な役割を果たします。

※フロック堀に使用するフロックは、JIS品またはJIS品と同等品以上の品質の製品をご使用下さい。また、施工にあたっては、

専門業者・技能士へご依頼して頂くか、相談のもと、設置場所に応じた施工をお願い致します。ポイントを押さえて、安全安心な

フロック堀を設置して、快適な空間をお創り下さい。(フロックの用途につきましては、別紙にて案内させていただきます。)

※薄目地フロックの縦目地(目地幅1~2mmと狭い為)接着及び施工全般に使用するモルタルには、フレックスモルタルを推奨させて頂いております。

### 注意ポイントQR



### フレックスモルタル推奨QR



全九州コンクリートフロック工業組合

<https://kcba.jp/>

